

はだの浮世絵ギャラリー

春爛漫

# 江戸の花見

2018年 3月1日(木) ~ 4月22日(日)



「雪月花之内 はな」歌川国貞（三代豊国）

江戸っ子たちにとって、最大の娯楽のひとつであった花見。本展では、背景に桜が満開の役者絵や芝居の場面、桜の名所や花見の様子を描いた浮世絵から、春の訪れをお楽しみください。

◆開室時間

9:00~19:00（火曜日、祝日は17:00まで）

◆休室日

月曜日、3月30日(金)

◆会場

はだの浮世絵ギャラリー（秦野市立図書館2階）

住所 〒257-0015 秦野市平沢94-1（カルチャーパーク内） TEL 0463-81-7012

交通 小田急線秦野駅北口バス3番のりば《秦08系統》渋沢駅行き（日立製作所／桜土手経由）「文化会館前」下車

小田急線渋沢駅北口バス3番のりば《秦08系統》秦野駅行き（日立製作所／桜土手経由）「文化会館前」下車

◆主催 秦野市 ◆問い合わせ 生涯学習文化振興課（0463-84-2792）

入場  
無料



## 展示目録

	題名	作者名	制作年代
1	見立三十六歌撰之内 凡河内躬恒 舎人さくら丸	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永5年9月 (1852年)
2	見立三十六歌撰之内 斎宮女御 みな鶴姫	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永5年11月 (1852年)
3	見立三十六歌撰之内 紀貫之 関兵衛	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永5年9月 (1852年)
4	見立三十六歌撰之内 中納言家持 狐忠のぶ	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永5年10月 (1852年)
5	見立三十六歌撰之内 壬生忠見 もとめ	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永5年11月 (1852年)
6	雪月花之内 はな	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
7	風流春の興	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
8	その姿あつまのうつしゑ	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
9	花宴紫面影	歌川国貞 (三代豊国)	万延元年1月 (1860年)
10	縁の月桜のにきはひ	豊原国周	明治元年2月 (1868年)
11	絵巻物五十四帖 若紫	二代歌川国貞	慶応2年12月 (1866年)
12	六代目市川団蔵の髭ノ意休・河原崎権十郎の揚巻ノ助六・ 三代目岩井籙三郎の三浦ノ揚巻	歌川国貞 (三代豊国)	文久2年2月 (1862年)
13	(意休と白酒売)	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
14	坂東しうかの白拍子花子・三代目関三十郎のこんがら坊・ 三代目嵐吉三郎のせい高坊	歌川国芳	嘉永5年 (1852年)
15	江都名所 上野東叡山	歌川広重	天保13~14年頃 (1842~1843年)
16	江都名所 上野不忍の池	歌川広重	天保中期 (1834~1837年)
17	東都名所 上野東叡山ノ図	歌川広重	天保6~10年頃 (1835~1839年)
18	江都名所 御殿山遊興	歌川広重	天保中期 (1834~1837年)
19	江戸名所三ツのながめ 御殿山花見	歌川広重	天保11~13年頃 (1840~1842年)
20	東都名所 御殿山遊興	歌川広重	天保11~13年頃 (1840~1842年)
21	東都名所之内 御殿山花盛之図	歌川広重	天保11~13年頃 (1840~1842年)
22	東都名所 隅田堤雨中之桜	歌川広重	天保6~10年頃 (1835~1839年)
23	東都名所 隅田堤花見之図	歌川広重	弘化2~3年 (1845~1846年)
24	江都名所 隅田川はな盛	歌川広重	天保中期 (1834~1837年)
25	江戸紫源氏模様	二代歌川国貞	万延元年2月 (1860年)
26	(花見の図)	落合芳幾	元治元年1月 (1864年)
27	(若殿行列図)	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
28	(上野花見女行列)	歌川国貞	天保中期 (1836~1840年)
29	浅草奥山四季花園入口光景	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永5年11月 (1852年)
30	千代田之御表 上野御成	楊洲周延	明治30年頃 (1897年)